

平成24年度地区別市政懇談会意見・要望 本町地区

平成24年10月30日

No.	質問内容	地区別市政懇談会における回答	現在の状況及び今後の対応等の補足	担当課
1	室川橋からオケ分踏切までの市道について、制限速度である時速30キロが守られておらず危険です。	ご指摘の区間に3箇所、速度抑制を促すための啓発看板を設置しました。あわせて警察に情報提供を行いました。	設置した3箇所のうちの1箇所の啓発看板を視認性の良い大きなサイズへ変更する予定です。	くらし安全課
2	自転車マナーの悪さが目立ちます。特に中高生へのマナー教育を要望します。	自転車安全利用5則を示した啓発チラシを市内全中学校に配布しています。その他秦野高校ではスタントマンを使った交通安全教室も実施しました。今後も生徒や通勤者も含めマナーを守っていただくような呼びかけ運動を警察や関係団体と協力して実施していきます。	秦野高校への通学時の自転車マナー徹底の呼びかけに対し、生徒自ら交通安全標語の募集や交通安全ポスターを作成し、校内での掲示等を行い、マナーアップに取り組んでいます。	くらし安全課
3	水無川の左岸線は時間帯により渋滞が見られます。今後県の西部総合職業技術校が開校すればかなりの生徒が通学することになりますが、何か対策はありますか。	信号機の処理については市道6号線は幹線道路ということで、交通量を感じし流れをスムーズにするよう県警で集中管理をするシステムとなっています。技術校へは車での通学は無いものと考えますので、歩行者の増加が考えられます。この歩行者へ支障をきたさないように、ということを考えてみると現状が最適であるということです。	当日の回答と同じ	くらし安全課
4	最近四つ角周辺の商店の閉店が目立ちます。まちの活性化について市としてはどのように対策を考えていますか。	県による県道705号の拡幅整備事業を一つの契機として課題を整理していきたいと考えます。705号を中心に東西の市道の関係も考慮し、まちづくりの方針をなるべく早くまとめ地元との調整を図ってまいりたいと思います。	現在、駅前通りの周辺地域における道路等の都市基盤が抱える問題について検討を進めており、平成25年度には、周辺住民の方々の意見を伺いながら、まちづくりの計画としたいと考えています。	まちづくり推進課

平成24年度地区別市政懇談会意見・要望 本町地区

平成24年10月30日

No.	質問内容	地区別市政懇談会における回答	現在の状況及び今後の対応等の補足	担当課
5	防災備品をそろえるとき無駄や不足のないよう効率的な備蓄をするための考え方を教えてください。また、防災資機材に対する市の助成は5年で20万円ということですが、これは5年間で打ち切りということなのでしょうか。	自助としてはハンドブックを作成し啓発しているところですが、まず食料3日分をお願いしたいと考えています。また、赤ちゃんがいる、常備薬がある等の個々の状況に応じ対応できる準備をお願いします。共助としては、資機材の購入等に対し補助をしておりますので、対象物品の一覧表をご覧になっていただき参考にして準備をしていただきたいと思います。また、助成については、限度額は5年で20万円ですが、5年ごとにリセットされますので、5年経てばまた新たに20万円ということになります。	当日の回答に同じ	防災課
6	防災行政無線が聞き取りにくい地域があります。調査・改善を要望します。	小さなエリアに対応する簡易局を取り付ける等の対応をしておりますので、聞き取りにくい場所については情報提供をお願いします。しかし、音声による屋外の放送は音が反響するなどして数を増やすことでかえって聞き取りにくいこともあります。そこで無線放送を補うためにテレホンサービス、緊急情報メールにあわせ今年度からtvkのデータ放送の画面で内容の確認ができるようにしました。これらの手段を組み合わせ、情報を入手していただくこともいざという時の備えになると思いますので、ご活用ください。	当日の回答に同じ	防災課
7	自治会で水や食料を備蓄する量の目安はあるのでしょうか。	水や食料は資機材助成の対象となっておりませんので、各自治会の状況は把握しておりませんが、自助の部分同様、自治会館等で避難生活する方の人数×(かける)3日分ということが基本ではないかと考えます。	当日の回答に同じ	防災課

平成24年度地区別市政懇談会意見・要望 本町地区

平成24年10月30日

No.	質問内容	地区別市政懇談会における回答	現在の状況及び今後の対応等の補足	担当課
8	災害時要援護者名簿について個人情報、人権等の問題があり、開示できる情報の程度に限りがあると思います。名簿の利用等についてはどのように考えますか。	名簿に名前のある方は自治会や民生委員への情報の提供を承諾されているので、情報の共有は問題がないと考えます。この名簿に基づいて自主防災会、自治会の皆さんの支援をいただければと考えます。名簿に載っていない方が問題になると考えます。この部分は地域をよく知る民生委員ですとか、災害時に設置される福祉部の要援護者支援班の職員との連携等で対応をお願いしたいと考えます。	当日の回答に同じ	防災課
9	最近中高生の問題行動が目につきます。地元としても迷惑している部分があり、注意しようにも何をされるか分からずできない事情もあります。市として何か対策はとっていますか。	市の関係課、教育委員会、警察等で連携して、パトロールを行っています。あわせて防犯カメラ等の設置などハード面の対応もしております。また、地域の皆さんのお力添えをいただいている部分も大きく非常に感謝しております。年齢的にも多感な時期で対応が難しい面もありますが、関係各課で連携しながら粘り強く対応をしていきたいと考えております。	問題行動等への注意については、なかなか難しい点があります。注意することにより反発することも考えられるため、街頭指導員等も声かけ等の活動を日ごろから重ねております。また、問題が発生している地域については夜間の巡回等も強化したいと考えます。	くらし安全課・子ども育成課・教育指導課
10	さかえちよう公園が問題行動のある中高生のたまり場となり、近隣で迷惑しています。利用時間を制限するなどの対応はできないでしょうか。また、設置されている防犯カメラの利用状況はどのようになっていますか。	利用禁止時間を設けるには門扉や壁などハード面の整備を要するため困難ですが、照明等を時間によって切るなどの手法は考えられると思います。また、監視カメラは2週間分のデータを撮っておくことが可能で抑止力の効果が期待できます。	当日の回答に同じ	公園課

平成24年度地区別市政懇談会意見・要望 本町地区

平成24年10月30日

No.	質問内容	地区別市政懇談会における回答	現在の状況及び今後の対応等の補足	担当課
11	本町地区の小さな公園には子ども用の遊具が少ないと思います。近隣にマンションが新しくできて、子どもがいる家庭も増えています。小さくてもよいので設置をできないでしょうか。	近隣の公園ということで、さかえちよう公園やことぶき公園、きたばら児童遊園地が該当かと思います。さかえちよう公園は防災機能を持った公園という土地寄付者の意向もあり、中央を空けたという経過があります。その他の小さな公園は安全スペースの確保を考慮すると現状の配置で限界と考えます。今後、老朽化した遊具の撤去が必要になった時に、自治会や公園愛護会の皆さんと相談しながら、幼児向けがいいか、健康遊具がいいか、ということについて検討をしていきたいと考えます。	当日の回答に同じ	公園課
12	民主主義とは任せる者と任せられる者との信頼関係が大切だと考えるが、どう思いますか。	例として公共施設再配置計画などを見ても、情報公開しながら、行政も利用者のみなさんも同じテーブルについて議論するものとしています。このようなことが信頼関係を生む民主主義の手法であると考えます。	当日の回答に同じ	企画課
13	クリエイトの横の通りが狭いので、グリーンベルトの設置はできないでしょうか。	グリーンベルトは通学路を中心に整備をしています。必要などを徐々に進めていくこととなります。	当日の回答に同じ	道路整備課